

大森遺跡発掘調査現地説明会資料

平成 24 年 7 月 15 日

岡山市教育委員会文化財課



図 1 位置図

足守地区の新しい学校づくり事業に伴い、平成 24 年 6 月から、埋蔵文化財の確認されている校舎建築部分、1,500 m²の発掘調査を実施しています。

発掘調査の結果、北側丘陵裾部に形成されている河岸段丘上の平坦な地形上で土壌、柱穴、溝等の遺構が検出されました。南側は、大きく削平されていますが、部分的に残っている地形から、調査区の東側付近の河岸段丘はもう少し広がっていたと考えられます。土壌等の時期は、出土した遺物から、縄文時代晩期から奈良・平安時代頃と推測されます。

調査区の西側には流路が検出されており、縄文時代晩期の土器が比較的多く出土しました。土器の時期は、晩期中頃に限定されることから、付近に一時的に暮らしていたムラが存在していたと推測されます。さらに、河岸段丘が流路へ張り出した部分で、石棒が 1 点出土しました。石棒は中心部分で折損していますが、長さが 38 cm もあり、県下で出土している石棒の中で最も長いものとなります。本来の長さは 70 cm を越えるものであったと考えられます。大形の石棒は、集落外に立てられる例が多く、本例についても、水辺を意識していた位置に立てられていた可能性が高いと推測されます。縄文時代の暮らしを考える上で貴重な事例ということになります。

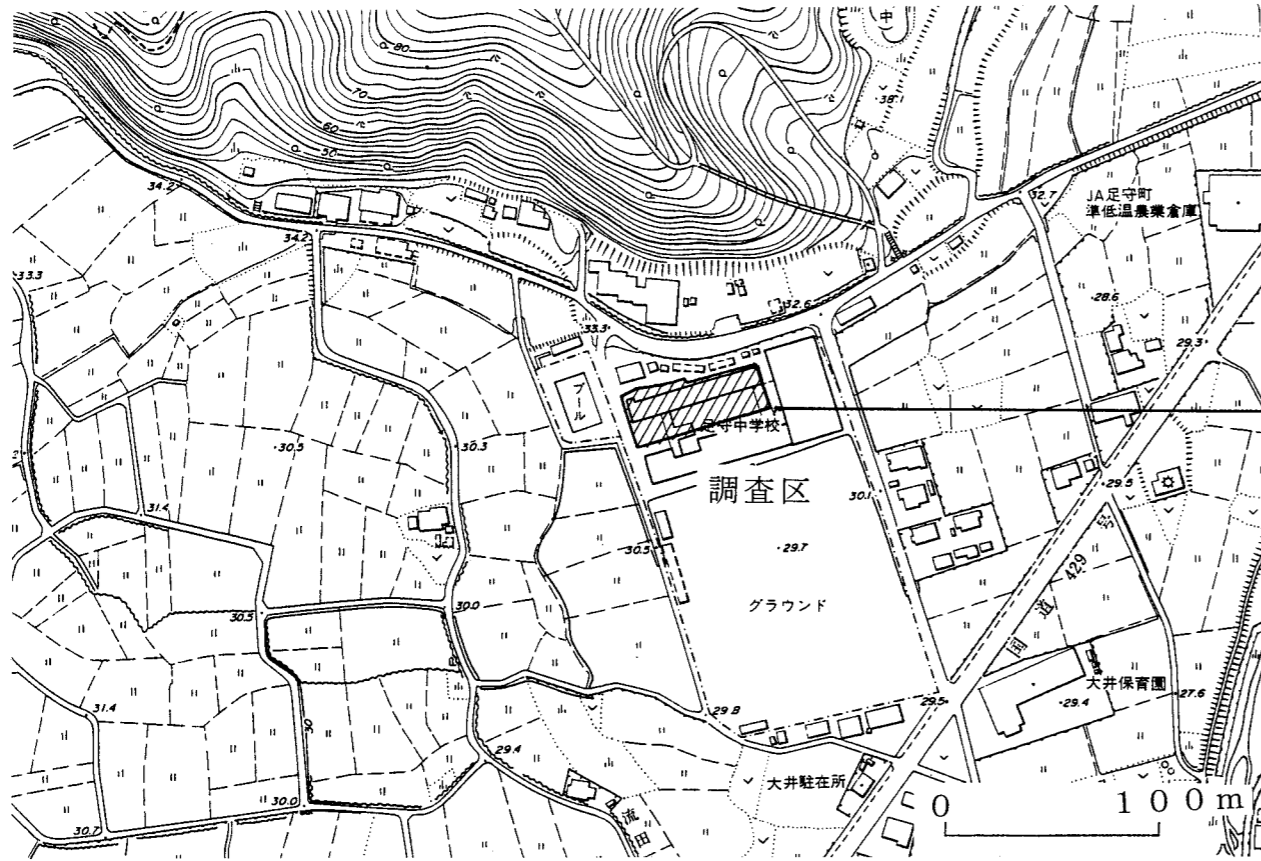


図2 調査区位置図

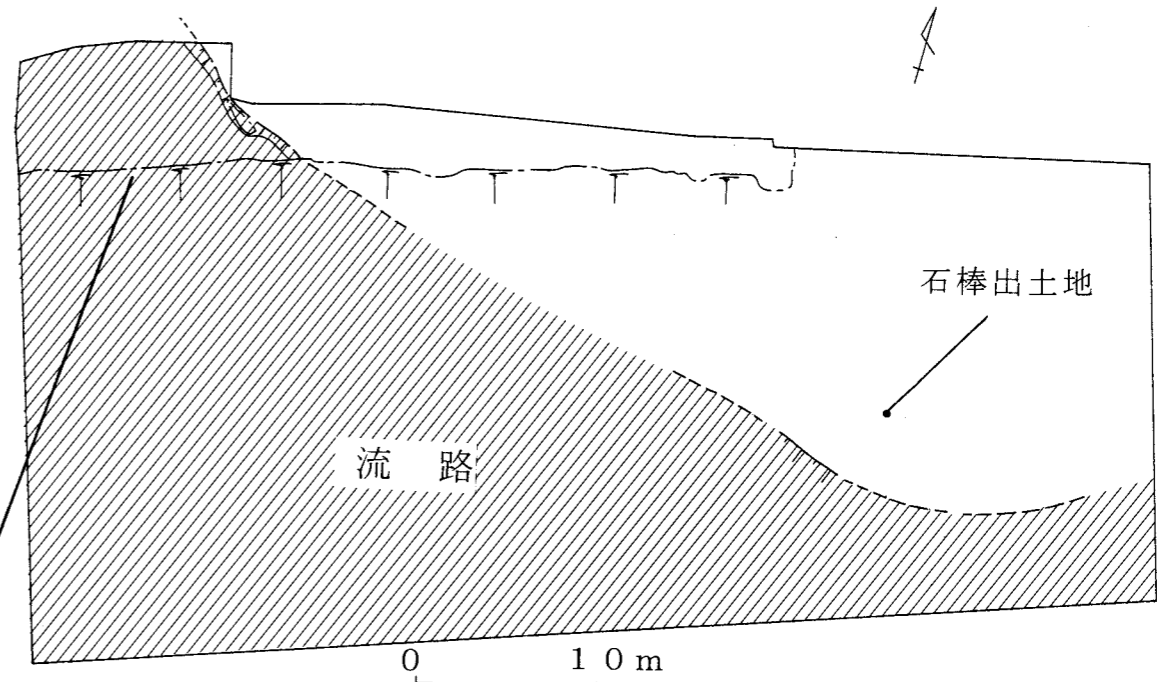


図3 調査区全体図

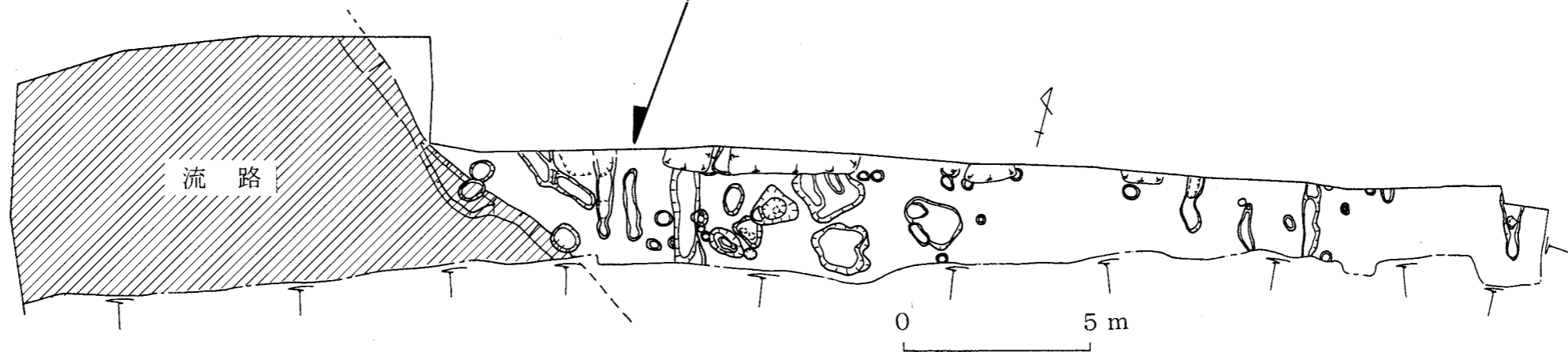


図4 遺構配置図

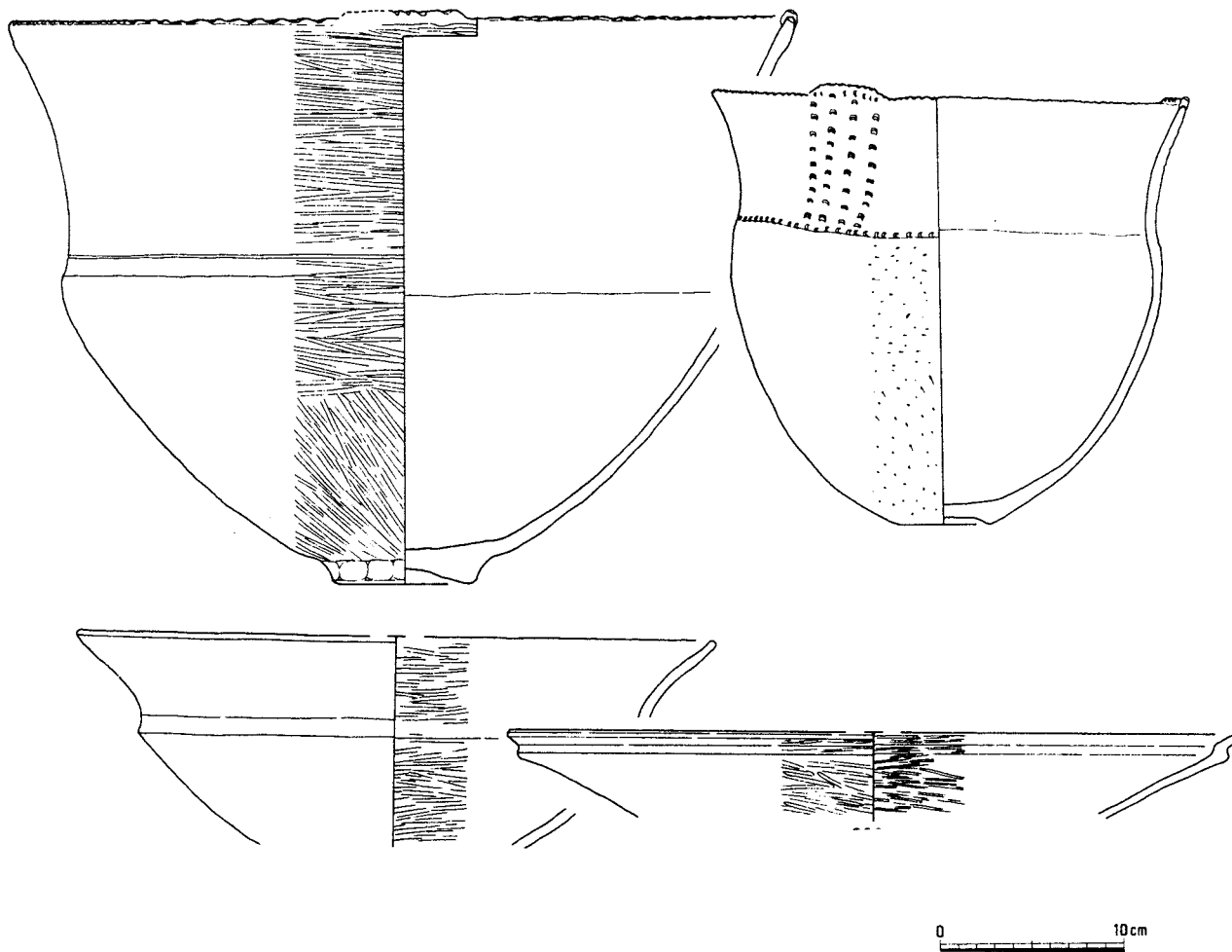


図5 縄文時代晩期の土器（総社市南溝手遺跡）

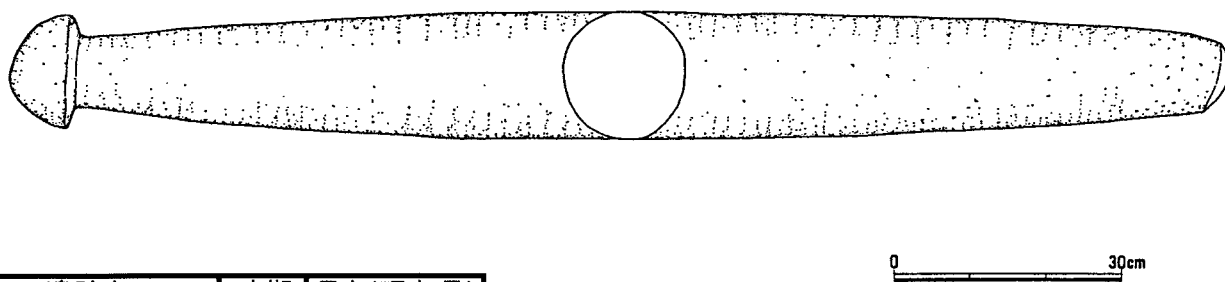


図6 大形石棒（東京都千ヶ瀬T-52遺跡）

	遺跡名	時期	長さ(現存長)
1	門田貝塚	弥生	13.8cm
2	津島岡大遺跡(第9次)	後期	18cm
3	津島岡大遺跡(第23次)	弥生	16.5cm
4	西岡貝塚	中期	35cm
5	延寿寺跡	弥生	13.3cm
6	彦崎貝塚	前期	6.24cm
7	百間川沢田遺跡	晩期	10cm
8	百間川沢田遺跡	晩期	10.2cm
9	上仁保地内遺跡	晩期力	5.1cm
10	上仁保地内遺跡	晩期力	5.1cm
11	川入・中撫川遺跡	弥生力	11.2cm

岡山県下出土の石棒の時期と長さ